



# 上尾ロータリークラブ



2020-2021年度R.I.テーマ  
ロータリーは機会の扉を開く



2020-2021年度 宇多村海児会長

## 第2846回 例会

2020. 10. 8

会長あいさつ

週報 No.2151  
発行 2020年 10月15日

2020-2021年度  
会長 宇多村海児  
幹事 深澤 圭司  
副会長 斎藤 修弘  
副幹事 長沼 大策  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 坂 佳三

### 行事予定

- 10月22日 上尾市とYahoo!の  
防災連携について  
上尾市危機管理防災課
- 10月29日 クラブフォーラム  
会員増強維持意見交換会
- 11月5日 会員卓話 大塚崇行会員  
「津波記念碑建立事業」
- 11月15日 地区大会
- 11月19日 会員卓話 大木保司会員  
「国際奉仕事業について」
- 11月26日 武重秀雄会員  
米寿祝

皆さん、こんにちは。本日も例会にご来場いただきありがとうございます。月曜日は地区大会記念ゴルフで、深澤幹事、斎藤修弘副会長、大木崇寛ホビー委員長の4人で参加してきました。この日の主役は斎藤副会長で、たいへん楽しいゴルフでした。

さて先週から〇〇の秋をテーマに会長あいさつをさせていただいており、本日はスポーツの秋についてお話しさせていただきます。私、スポーツと言えばサッカーで、自分でやる回数は減り、専ら少年サッカーの指導者および付随する活動に時間をさくことが多いです。指導者になって約10年、毎年同じように新しい団員が入ってきて、同じように教えていくということではありませんが、教えるのはサッカーだけではなく、むしろサッカーを通じて別のことを教えていると言った方が早い気がしています。7月の例会でスポーツ少年団の幹部の方々が見えなくなった際、スポーツ少年団の目的は3つありますと申し上げました。1つ目は「スポーツの楽しさを子供たちに伝えること」、2つ目は「スポーツを通じて子供たちの心身の健康を育むこと」、3つ目は「スポーツを通じて人と地域を結びつけること」です。3つの目的を踏み外さないよう心掛けて指導するわけですが、近年、今まで通りにいかないと思うのは子どもではなく、保護者の問題です。

例えば小学1年で長男が入団してくると、親は、子どもの親になって6~7年です。確かに親ではあっても、親として成熟しているかどうかは別の問題で、団の規律に対して、わが子の事になると規律が見えなくなってしまう親御さんが多いです。団の規律に従ってもらうのも一苦労する方もたまにいらっしゃって、そうなるとお子さんを教えながら親御さんも導いていくことになりま。サッカーはポピュラーなスポーツですが、私の持論では、子どもには少し難しいスポーツであると思っています。キーパー以外は手を使わないという事で基礎練習が欠かせませんが、どうしても避けて通れない基礎練習を3年生以下から幼稚園年中までの5学年を指導していると、ボールフティングがうまくできない事が壁になって、これができずに辞めていってしまう子もいます。フティングがうまくで



## 幹事報告

深澤 圭司幹事

きなくて、家で暴れたり大声を出すなど感情をコントロールできず、親御さんが疲れてしまって、対応を相談してくる方もいるのですが、そこは教え方にも工夫をしないといけないといけなく、指導者の間で新しい指導方法を探していこうとしています。お子さんが高学年になっていくとだんだんボールが触れるようになり、試合でもドリブルができ、キープをして、本格的にサッカーを楽しむようになり、ある程度自分で判断してプレイをするようになります。そうなるまで試合の準備をして、家庭で練習の愚痴を言うこともなくなり、指導者の目からするとそれは子どもの成長で何より嬉しいことですが、以前「低学年では手間がかかる子でしたが、高学年になってからは手間がかからなくなった」と喜ぶべきことを、だんだん子どもが離れていくのが我慢できなくなっていく親御さんがいます。親御さんに「灯台にならなくて下さいね」と話すがよくあります。わが子が外の海に向かって船出をよくいき、沖に出て自分の力で船を漕いでいくと、子離れできない親御さんは、子どもがどんなに沖に出て、子どもから見えるように自分の存在を灯台のように大きくしてしまっています。わが子の成長が嬉しい反面、寂しくなってしまうやりにきれない精神状態をおこすお母さんもいらっしゃいました。そのような場合、お子さん(選手)が有望であればあるほど、私たち指導者は、親御さんにも対処していく必要がなければなりません。いずれにしても「学ぶ事をやめたら、教えることをやめなければいけない」という、サッカーの指導者の中では有名な言葉があります。これは20年ほど前の、元フランス代表監督ロジェ・ルメールの言葉です。この言葉を私は胸に刻んでいます。日本語にも同じような言葉に「師弟同行(してどうぎょう)」があります。師は教え、弟子は学びますが、そこでは師も同じように学び進めなければいけないという意味で、ロジェ・ルメールの言葉とまさに重なってきます。この言葉を忘れることなく、これからもロータリアンたる宇多村としてもサッカーの指導を頑張っていきたいと思う、コロナ禍のスポーツの秋です。

会長あいさつは以上です。本日もよろしくお願ひいたします。

◇10月のロータリーレートは1ドル=105円です。  
◇10月5日、地区大会記念ゴルフに参加してきました。結果がわかりましたら皆さまにご報告したいと思います。



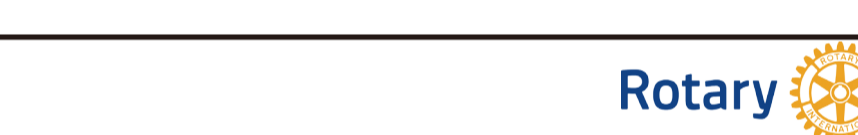
## 例会主題

新会員卓話

山崎 亮一 会員

この度、入会させていただいた山崎亮一と申します。私は昭和50年(1975年)2月22日生まれました。山崎家のルーツを少しお話しします。ヤマザキと濁るのは、関東。ヤマザキと読むのは関西。関東に住んでいるヤマザキのほとんどは、東京都町田が発祥です。関東の山崎は、武蔵7党という同族的武士集団のうちの横山党に所属していました。横山氏は小野篁という平安時代の官僚学者の後裔であるため、同族の山崎氏も小野篁の後裔となります。

家族の紹介をします。祖父は山崎善治、元々小泉の出身で、農家の三男坊のため、小学校を卒業したあと、中山道にあつたあさやさん(呉服屋)に丁稚に出されました。兵隊に招集され中国やインドシナ半島で戦った後、ビルマで捕虜になります。日本に帰国後愛宕にある横浜ゴムに就職し、以後、山崎家は愛宕で暮らすようになります。祖母の山崎繁子は熊谷の人間で、星川川いで食堂を営んでおりました。父・山崎正は、以前ロータリーに加入させていただいておりました。現在も、市内で弁護士をしております。母・山崎麗子は、千葉県佐原(現在の香取市)の出身です。母は東京の三共製菓でOLをしていたのですが、中央大学で学生をしていた私の父を樋口君のお父さんに紹介してもらい、そこから交際がスタートしたので、もし仮に樋口君のお父さんに紹介してもらわなければ、私は存在しなかったことになるので



## 大変感謝しております。

山崎五月は私の弟で、父の仕事を手伝っております。現在、私はこの弟と一緒に住んでおります。残念ながら3人が既に鬼籍に入っておりお墓は上寺にあります。

続いて自分のこれまでの歩みについて紹介します。私が初めて通った学校は、二ツ宮にあるひかわ幼稚園です。その後、地元の上尾小学校に入学し、野球したりサッカーしたりファミコンやったりと、どこにでもいる普通の小学生でした。中学は上尾中学校で、ソフトテニス部に入学しましたが、3年間、テニスに打ち込むようなことはなく大変ゆるい部活でした。でも、小学校の時の友達が10人くらい入部して、大会が終わったら皆で打上げしたりして、大変楽しかったです。小学校・中学校時代の友達は、まだ結構地元に残っている者が多く、今でも付き合いがあります。

高校は、埼玉栄高校に入学しました。埼玉栄高校は、陸上部が有名です。近年では相撲部が有名で、豪栄道や貴景勝、大栄翔に琴ノ若、翔猿、大鵬の孫の納谷などが出身です。私が通学していた頃は、比較的競技人口の少ない種目でインターハイや国体に出ているような状況でした。私は特に部活に入ることはなく、大宮のハタシネマや西口界隈に、よく遊びに行っていました。

大学は、京都にある龍谷大学に入学しました。龍谷大学は西本願寺という日本で一番信者が多い浄土真宗の本山が運営する大学で、その大学の文学部史学科国史学専攻に首席で入学しました。入学式で、新入生代表であいさつ文を読み上げましたが、大学に5年や6年も通う勉強熱心な学友達の影響で、私も卒業するときは、ギリギリの成績で卒業することになりました。

大学に入学した際に考えたことは、今まであまり奇抜なことをしてこなかったもので、何か変わったことをやってみようかと思いましたが、オリエンテーションで演劇サークルの出し物が物凄く面白く、ちょっとやってみようかと思いついて入部しました。そんなに上手くなかったのですが、舞台にあがるのは楽しかったです。舞台袖で出番を待つ時間も、緊張感があって楽しかったです。また裏方も楽しく、とにかく夢中になって4年間を送っていました。そんな大学生活でしたが、今でも付き合いは続いていて、大体1年に1回、東京と京都を交互に集まっています。

## 大学を卒業後、上尾市役所に入所しました。

市役所では、税金と情報処理と老人医療の業務に携わりました。市役所では、仕事ももちろんですが、いい先輩方と出会うことができ、再来週末はGoToキャンペーンを使って一泊で秩父にホルモンを食べに行ったり、コミュニティーセンターで定期的に映画の上映会を開催したりしています。

その後、役所に在職中に、法科大学院という学校が作られました。法科大学院とは、端的にいうと、3年間学校に通い、卒業後司法試験に受かると弁護士になれるという学校です。そして、司法試験には7割合格することを予定していると発表されておりました。これはチャンスだと思い、一念発起して法科大学院に通ってみようと思い、役所を退所しました。

法科大学院を卒業後5年間の間に試験に合格しないと受験できなくなるのですが、合格せずに5年間を過ぎてしまい、残念ながら弁護士の道は諦めることにしました。

平成25年、法科大学院3年生のときに、行政書士試験に合格しました。そして、平成30年に行政書士登録をしました。

普段の業務としては、相続遺言・契約書作成・内容証明郵便の作成・在留資格の取得・農地転用開発許可・古物商等各種営業許可・法人の設立・自動車の名義変更などを行っております。最近では、コロナウイルスにかかる持続化給付金や家賃補助などの代理申請も行ってあります。

行政書士登録をした後、友達から青年部の話を聞き、興味をもったので入会させていただきました。大変短い期間でしたが、ベトナムの日本語学校の視察やハノイ商工会議所への表敬訪問など、今まで経験したことがなかったことを沢山で、非常に充実した時間を過ごすことができました。

ここからは、趣味の話をしていきたいと思ひます。私は多趣味でして、1つのことだけというよりも、色々なことを広く浅く行うようです。

まず、大学のときに演劇をやっていたことから芝居をみるのが好きです。映画もよく観ます。

(週報裏表紙で)一緒に写っている人は、茶風林さんという声優さんです。サザエさんの波平さんやちびまるこちゃんの長澤君という役をやっています。毎年、お寺で怪談の朗読会をやられていて、私は、毎年観にいきます。

## ほかに、落語を聞くのも好きです。

写真(下の左)の人は、三遊亭楽生さんという噺家で、三遊亭円楽(旧楽太郎)の1番弟子の方です。また次の写真(下の写真右)の方は、三遊亭好介さんという噺家で、笑点メンバーの三遊亭好楽のお弟子さんで、手品師ナポレオンの背の高い方の息子さんです。この方の芝居はなかなかのもので、

映画は、観るのも好きですが、市役所時代の仲間とコミュニティセンターで定期的に映画の上映会を行っております。昨年2月には文化庁から無料で映画のフィルムを借りてきて、木下恵介特集として映画の上映会を開催しました。ただ、今年は、コロナの影響とコミュニティセンターが改修工事に入ったことから、上映会が開催できない状態が続いております。

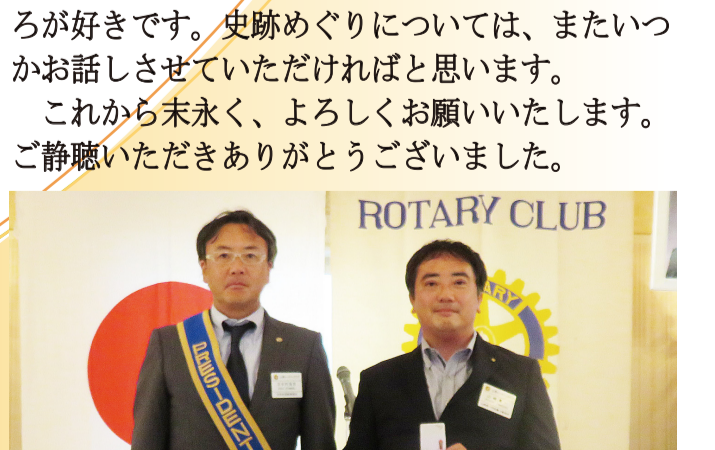
山登りというほど本格的なものではありませんが、ハイキングや軽い登山も好きで、神奈川県

## 丹沢山系にある大山に登るのが好きです。

上尾にも大山講という講があります。秩父路を歩くことも好きです。秩父34札所は、全長約100キロの行程となるのですが、自転車でも1回、歩きでも1回回りました。猿は良く見えますし、一度熊にもあったことがあります。そのほか、秩父にはハイキングコースも多いので、日帰りで歩いて帰ってきます。また、秩父事件にも興味があり、事件に関する史跡を歩いて訪ねたりしています。いつか、薄くてもいいので、本にしたいと思っています。

趣味では他に、史跡めぐりがあります。訪れるところは、あまり観光地化されていませんが、日本史の教科書には必ず掲載されているようなところが好きです。史跡めぐりについては、またいつかお話しさせていただければと思います。

これから未永く、よろしくお願ひいたします。ご静聴いただきありがとうございました。



**スマイル** 山崎会員、卓話いただきありがとうございます。

大塚信郎会員 結婚祝い、ありがとうございます。  
長沼副幹事 17・18日に上尾駅でテイクアウトフェアを開催します。

宇多村会長・深澤幹事・斎藤修弘副会長・岡野会員・小林会員/尾花会員/  
大塚崇行会員/島村会員/藤村会員/齋藤哲雄会員/須田会員/樋口会員/坂本会員/  
小田切会員/丹井会員/坂会員/大木崇寛会員/奥川会員/関口良康会員/山崎会員

出席率	
会員数	37
出席数	27
欠席数	10
72.97%	

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303  
例会場 東武バケットホール4F(ボリアス) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

